









## 冬の高原樹心院眞道

ほしの國はなくなる八時を東海の見ゆ葉歩もあり。大空に横雲くろくなびきわざかにもる陽のあたながさ。碧空の照日のもとの里風の大山のかく雪まつる。ちらりと雪にふらつ高原に心佛行に氣はひこなり。懶念をはらひつ雪の高原に心佛行に氣はひこなり。

はしらぬシラバタのやま山光はなげかけ夕陽おちゆく。

あかねさす夕陽も雪の高嶺に大きくなりて極沈めり。

三つ上の兄の跡に来ん日をまらし得らまうび給ふよ母の母。

東海のきわまるにいに山河變だれてぞ飛ぶ。

わがいのち二十九年の冬はなやかやまとて開むもだる。

よしあしのしなの定めは人にまかせおのれ獨りまづ勝ばや

いつは人の世夢はやぶれては誠慕ほなりけり。

人の世にまごの心のはかに又佛の道をなよこてよめ。

大空にわきかへ雲の雄かじる事難むる事難むる。

おしなへて佛の道にかへかし空ふ鳥の葉ならさじ。

さみしい雨が又いつ御目に。

かゝれませう先生……じつと見話を

言ひました。

さやうなら……

先生……

さよひました。

紅葉は散る。







輝やく都會

北扇龜男

事はその時の「お仕事」で、山中は「のんびり」として、電車に乗り、同じ芝口を行く電車に乗り合せて、ふも清水の女の姿に逢つた。

「あ、やまと子さんね、逢ひましたよ。この間ね、あなたは手帳顔に何よりも先に、かう云ひ出しました。

「うわ、何處で？」

貞夫はやまと子を驚いて、俄に緊張して相手の顔を注視した。

「うちの遠處で見つけられました……お目出たいたいんですね」

「うむ、要が大きい云々云々とは、聞いてるだけさ、ぢや本當に大接客へ行つて見た。何か非常な事がある間に、寝込んでる人の事か？」

「ほ、それで今、うちにあるるんだけさうですねが、さういにあなたの方へ向いて入る事、男體は桔子



大坂藥店

An advertisement for Wei Chong Wei Zu Yuan. On the left, vertical text reads "魏增味祖元" at the top, "正" (Zhen) in a large box, "藤本商会" (Tengbo Commercial Company) in the middle, and "藤本商會" (Tengbo Commercial Company) at the bottom. To the right is a black and white illustration of a woman wearing a headscarf, stirring a large, round-bottomed wok with a long wooden spoon. The wok sits on a small stove.

# し出賣大スマスリク

羅府

性兒弟為企

現代的計算のもとに純に  
皆様の御満足に叶ふ  
當店の活躍は  
このクリスマス大賞出しに  
一層皆様の御賞讃を  
仰いで居ります。

クリスマスマ  
年末年始の  
御贈物の御支度は  
是非塘で…………。  
常に新しい路を歩む  
當店の大發展振は  
同胞の花があり  
誇であります。